

こうしめんかんかく

格子面間隔

■ 用語解説 ■

結晶の格子間隔のこと。結晶は原子や分子が空間的に繰り返しパターンを持って格子状に配列している物質で、この繰り返しパターンの間隔が格子間隔であり、原子や分子の配列を面として捕らえたときの間隔を格子面間隔あるいは結晶面間隔という。